

藤保第 1302-12 号  
令和 5 年 3 月 30 日

関係機関 各位

大阪府藤井寺保健所長

藤井寺保健所管内における感染症情報（令和 5 年 3 月号）について（情報提供）

日頃から、当保健所業務に御協力いただき、お礼申し上げます。  
標記について、別添のとおり情報提供します。

担当課：大阪府藤井寺保健所  
地域保健課 感染症チーム  
担 当：木曾  
TEL：072-955-4181  
FAX：072-939-6479

取扱注意

感染症情報提供（2月新登録結核） 令和5年3月号

大阪府藤井寺保健所 地域保健課  
〒583-0024 藤井寺市藤井寺1-8-36  
TEL：072-955-4181 FAX:072-939-6479

事例	1	2	3	4
診断名	肺結核	肺結核、結核性胸膜炎	肺結核、皮膚結核	肺結核
年齢	80歳代	80歳代	70歳代	70歳代
性別	女	男	女	男
居住地域	藤井寺市	羽曳野市	藤井寺市	藤井寺市
職業	無職	無職	パート	無職
発見方法	有症状時受診	有症状時受診	有症状時受診	肺がん摘出術時
診断根拠	喀痰塗抹（+） TB-PCR（+）	喀痰塗抹（2+） TB-PCR（+）	喀痰塗抹（3+）胃液塗抹（2+） 皮膚膿塗抹（3+） TB-PCR（+）	喀痰塗抹（-） 乾酪性類上皮細胞肉芽 種あり
初診医療機関	一般医療機関	一般医療機関	専門医療機関	一般医療機関
診断医療機関	専門医療機関	専門医療機関	専門医療機関	一般医療機関
受診医療機関数	2	2	1	1
発見時の症状	発熱	食欲不振、倦怠感、発熱	呼吸苦、発熱、体重減少、倦怠感	なし
発病～初診	1日	7か月14日	0日	
初診～診断	4日	0日	14日	1か月3日
診断までの経緯	R4年12月より高齢者施設入所。入所前の健康診断では異常なし。（聴打診）入所後、発熱を認め医療機関受診。炎症高値、尿より白血球3+で尿路感染を疑い入院。CTにて肺野異常陰影認め喀痰検査を実施。塗抹（+）TB-PCR（+）判明し結核と診断される。	R4年7月頃より食欲不振、倦怠感あり。2月に発熱し医療機関受診する。新型コロナウイルス（-）、インフルエンザ（-）。発熱続くため再受診し、胸部CT、X線撮影。結核疑い専門医療機関紹介受診される。専門医療機関にて塗抹（2+）TB-PCR（+）で肺結核、結核性胸膜炎と診断される。	間質性肺炎により通院。ステロイド治療に伴い10kg体重減少。R5年2月に胸部CT撮影し、上両側肺野小結節多発しており結核を疑う。その後発熱と解熱を繰り返し、右背部痛あり同日下旬に入院となる。同日採取した胃液（2+）、右背部の皮膚膿塗抹（3+）、喀痰塗抹（3+）、TB-PCR（+）のため肺結核、皮膚結核と診断される。	肺がん摘出時に乾酪性類上皮細胞肉芽種を認め、T-spot陽性のため結核と診断される。
事例の特徴	高齢者施設入居者	高齢者施設入居者	ステロイド使用あり	肺がん摘出術時に発見

※専門医療機関：結核病床を有する病院 ★結核と診断した医師は直ちに保健所に届出をお願いします★

# ★令和4年度大阪府藤井寺保健所の結核患者のコホート検討会のまとめ★

コホート検討会とは、3か月に1回、保健所医師・保健師等職員と結核病床を有する病院の医師・地域の開業医等が集まり結核患者の治療状況の把握、治療成績の評価の他に地域の結核医療、結核対策の評価をし、課題を検討する会議です。検討する対象患者は喀痰塗抹陽性患者や服薬継続困難事例等を中心に行っています。

令和4年度は15名を対象に検討しました。藤井寺保健所管内では以下の課題があがりました。

① 「1か月以上の受診の遅れ」は6名。

・食欲不振、体重減少が初期症状にありましたが受診行動には繋がりませんでした。

② 「1か月以上の診断の遅れ」は6名。

・結核を疑わず胸部エックス線検査・喀痰検査未実施が2件

・喀痰検査実施するも塗抹（±）PCR（-）のため非結核性抗酸菌症と診断された事例が1件

・胸部エックス線検査したが肺炎と診断された事例が2件

・鼻結核のため診断が遅れた事例が1件

③ 「過去1年以内に胸部エックス線検査を受けていなかった者」は7名。うち6名が高齢者で、そのうち4名は他疾患で定期受診があるも年1回の胸部エックス線検査は受けていませんでした。



咳嗽や発熱だけでなく食欲不振や体重減少も結核の症状です。結核を疑う場合は胸部エックス線検査、喀痰検査の実施をお願いします。また、高齢者においては、年に1回の胸部エックス線検査の御検討をお願いします。

感染症情報提供2月号について診断医の先生より、コメントを頂いたのでお知らせいたします。

“今回のケース(詳細は2月号参照)では、即CT撮影が必要となる可能性もあります。まずは、結核を鑑別診断に入れていただくことが重要かと思います。”

A病院 小児科医